

平成26年度政策経営基本方針の概要

◆ 策定の目的

県政を取り巻く環境等に的確に対応しながら、知事がリーダーシップを発揮し県政運営の舵取りを行うべく、平成26年度における県政運営の基本となるべき方針を示すものである。

◆ 内容

1 県政を取り巻く現状と課題

- (1) 国の成長戦略等への対応
- (2) 経済再生と財政健全化の両立
- (3) 地方分権改革
- (4) 社会保障制度改革

2 平成26年度における政策経営の基本的考え方

東日本大震災の発生から2年半が経過し、指定廃棄物の処理など、今後克服すべき課題は残るものの、着実に復興を遂げてきたところであり、今年度は、復興の仕上げに向け、県を挙げた取組を進めている。

平成26年度は、復興から成長・発展へと飛躍するときであり、復興から力強い成長につながる施策に重点的に取り組むとともに、更なる発信力の強化を図る。

また、4年目を迎える栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の目標達成に向け、着実な施策展開を図り、「安心」「成長」「環境」ともにつくる「元気度 日本一 栃木県」の実現に向け、全力で取り組んでいく。

3 平成26年度政策経営実施方針

(1) 平成26年度に取り組む重点事項

① 復興から力強い成長に向けた取組

- ・風評被害の払拭、指定廃棄物の処理など
- ・本県の成長の基盤となる中小企業等の経営力の向上や新事業創出に向けた支援の強化、本県の農林水産物等の国内外への売り込み、さらには国内外からの観光誘客対策の強化など
- ・若者、女性、高齢者が持てる能力を発揮できる環境の整備、障害者の社会参加の支援など

② “とちぎ力”の発信

- ・オール栃木体制による発信力の強化
- ・大型イベント等を活用した観光プロモーションなど

(2) 「新とちぎ元気プラン」の着実な推進

- ① 政策の基本「人づくり」
- ② 重点戦略1「暮らしを支える安心戦略」
- ③ 重点戦略2「明日を拓く成長戦略」
- ④ 重点戦略3「未来につなぐ環境戦略」

(3) 予算編成の考え方

収支均衡予算の継続に向け「財政健全化取組方針」に掲げた取組の着実な実行を図るとともに、選択と集中の考え方にに基づき更なる事業の再構築を進め、新元気プランに掲げた事業の着実な推進や新たな行政課題等への的確な対応を図る。

(4) 行財政改革の推進

「とちぎ行革プラン」の目標達成に向け、全庁を挙げて取り組んでいくとともに、職員の意識改革と活力ある職場づくりを推進していく。

(5) 地方分権改革への対応

(6) 社会保障制度改革への適切な対応